

取組の柱④：「海」から「空」へ広がる安全保障・安全利用の取組

事例④⑨：遠洋練習航海及び外洋練習航海

1. 基本的な考え方

●海上自衛隊は、従来から「自由で開かれたインド太平洋」ビジョンの下、法の支配に基づく自由で開かれた持続可能な海洋秩序の維持に貢献しており、引き続き、同盟国である米国や豪印英仏その他のE U・N A T O諸国等友好国の海軍と連携を強化し、「自由で開かれたインド太平洋」を推進していく。

●遠洋・外洋練習航海は、初級幹部の国際感覚の醸成及び訪問国との友好親善等を目的としている他、安全保障環境改善のための一手段として有効であり、I P D・I M E D部隊等の長期展開行動による対応が困難な地域や更なる寄港を要する地域への展開の必要。

⇒ **東南アジア地域、欧州及び北中南米へのプレゼンスの維持・強化**

2. 具体的な取組

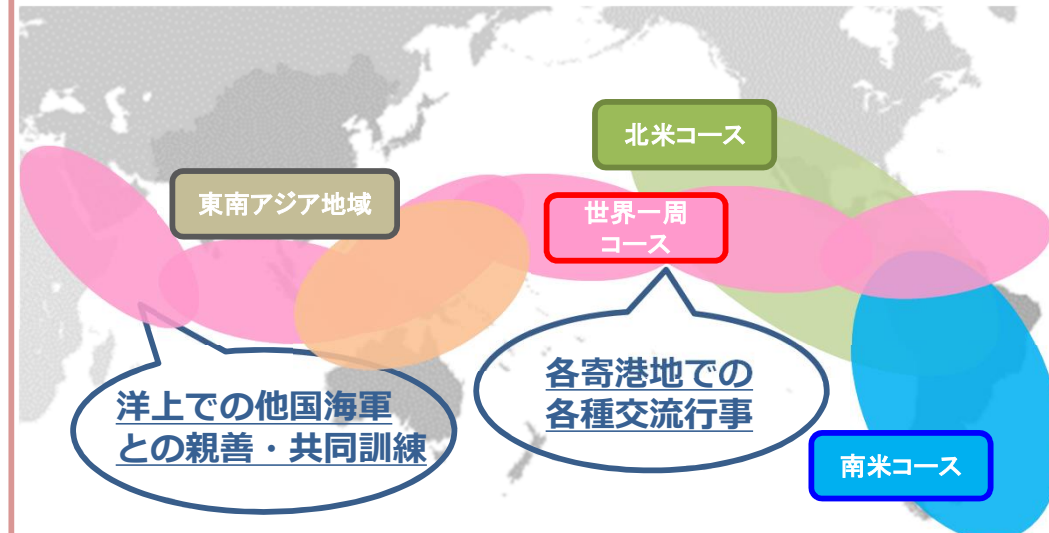
●洋上での他国海軍等との親善・共同訓練

(例) 日米共同訓練(太平洋)、日N A T O共同訓練(欧州)、

日スリランカ・日比・日泰親善訓練(東南・南アジア)等

●各寄港地での各種交流行事

(例) 艦上レセプション、献花式、演奏会、武道展示等



演奏会



献花式



武道展示



共同訓練